

きよはら ブックトーク



清原地域学校
図書館キャラクター
「きよじい」

清原地域学校園の児童・生徒のみなさんこんにちは！もうすぐ夏休みですね。清原地域の学校図書館では小学校と中学校6校で協力して、みなさんに本の楽しさを伝えたり、学習のお手伝いをしています。今回の学校園図書館だよりでは各校の図書委員会委員長さんに「おすすめの本」を紹介してもらいました。どれも読んでみたくなるような本ですね。学校図書館や地域の図書館などを利用して、ぜひ夏休みに読んでみてください。



清原中央小学校

6年 N. I. さん

「炎炎ノ消防隊 4 兄弟の再会」

大久保篤／原作 緑川聖司／文 講談社 913 オ4



この本では、ちいさい時に火事で母と弟をなくした主人公が、火事の原因の鬼の焰ピトをたおすために入った第8特殊消防隊で、焰ピトを生み出している敵の組織“伝導者”団長と出会う。そして、その団長は、弟のショウで――。

再会に感動しつつも、わくわく・ドキドキのとまらない本です。ぜひ読んでください。

清原南小学校

6年 M. H. さん

「獣の奏者 鬪蛇編」

上橋菜穂子／著 講談社 913 ウ



私がおすすめする本は、「獣の奏者の鬪蛇編」です。この物語は、獣ノ医師の母と暮らす主人公エリンが獣ノ医師を目指す物語です。ある日戦闘用の獣である鬪蛇が一度に何頭も死んでしまい、その責任を問われた母は処刑されてしまいます。ですが、エリンはそれでも前に進もうとします。みなさんも読んでみてください。

清原北小学校

6年 S. R. さん

「江戸人物伝 天草四郎」

加来耕三／著 ポプラ社 28 カ



この本は、歴史を学ぶための本です。天草四郎という若者が、自由を求めて農民とともに戦いに行くというお話です。

まだ18歳にもなっていなかった天草四郎が大勢の人々をまとめて指揮をとっているところに感動し、何回も読んでいます。みなさんも、ぜひ読んでみてください。

ゆいの杜小学校

6年 T. M. さん

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」

ブレディみかこ／著 新潮社 916 フ



“イエローでホワイトで、ちょっとブルー”これはアイルランド人の父と日本人の母を持つ「ぼく」の複雑な思いを表現した言葉。人種という壁にぶつかりながらも、強く成長していく「ぼく」の実話です。読んだ後には、まわりの人について、そして自分自身について考えさせられます。

清原東小学校

6年 S. M. さん

「5秒後に意外な結末 赤いパンドラの箱」

桃戸ハル／著 913 コ



短い話なので少ししか時間がない人にもおすすめです。結末を想像しながら読むのも一つの楽しみ方です。私が一番好きな話は「夫婦ゲンカ」です。夫が妻に怒られているときに取った行動とは…？続きは読んでみてください。この本には、すぐ読み終わる話が100話あるので、ぜひ自分のお気に入りの話を探してください。

清原中学校

3年 M. U. さん

「神様の御用人」

浅葉なつ／著 KADOKAWA 913 ア



神さまの望みを叶えるため、東北から九州まで駆け回る！それが「御用人」。その役目を任じられた良彦が、モフモフな狐神・黄金と共に奮闘するお話です。神様の秘められた思いと人物たちの優しさに心が温まります。修学旅行で、近所の神社で、八百万の神を身近に感じる楽しさを味わってみませんか？